

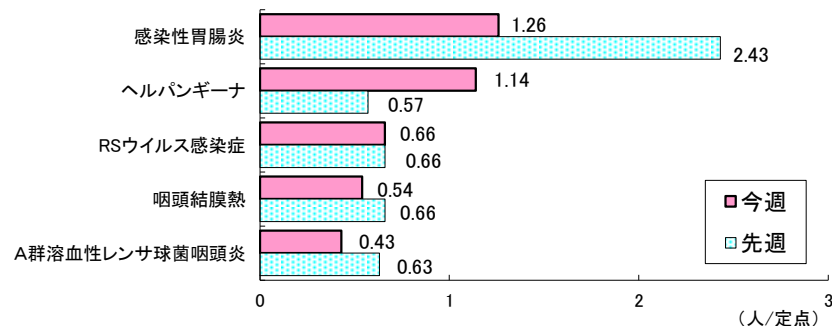


【第29週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で48%減少しています。保健所別では、全ての保健所で減少しています。
2. ヘルパンギーナは、県全体で2倍に増加しています。保健所別では、秋田市、北秋田、秋田中央、由利本荘、横手で増加、大仙、湯沢で減少しています。
3. RSウイルス感染症は、県全体で同規模です。保健所別では、秋田市、秋田中央、湯沢で増加、大館、由利本荘で減少しています。

秋田県の定点医療機関における主要5疾患の発生規模



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

(人/定点)

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第28週	第29週	増減	第28週	第29週	増減	第28週	第29週	増減	第28週	第29週	増減	第28週	第29週	増減	第28週	第29週	増減	第28週	第29週	増減	第28週	第29週	増減	第28週	第29週	増減			
RSウイルス感染症	0.66	0.66		0.29	0.86	↗	0.25		↘						0.75	2.25	↗	4.25	1.75	↘							0.25	↗		
インフルエンザ																														
咽頭結膜熱	0.66	0.54	↘	0.71	1.14	↗	1.25	2.00	↗				0.33		↘	0.50		↘	1.25	0.25	↘	0.75		↘			0.50	0.50		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.63	0.43	↘	1.29	0.57	↘	1.00		↘						1.25	1.25		0.25	0.25		0.50		↘		0.67	↗	0.25	0.75	↗	
感染性胃腸炎	2.43	1.26	↘	2.29	2.14	↘	3.25	0.50	↘	2.00	1.00	↘	6.33	2.67	↘	2.50	2.00	↘	1.75	0.25	↘	0.50	0.25	↘	2.33	2.00	↘	1.75	0.25	↘
水痘	0.14	0.37	↗	0.29	0.57	↗									0.75	1.00	↗										1.25	↗		
手足口病	0.09	0.14	↗	0.14	0.14								0.33	0.33					0.25		↘		0.25	↗			0.50	↗		
伝染性紅斑																														
突発性発しん	0.46	0.09	↘	0.86	0.14	↘	1.25		↘	0.50	0.50					0.25	↗	0.25		↘	0.50		↘	0.33		↘				
ヘルパンギーナ	0.57	1.14	↗	0.14	0.71	↗					0.50	↗			0.25	0.50	↗	0.75	2.50	↗	2.75	2.50	↘	1.00	4.00	↗	0.25		↘	
流行性耳下腺炎	0.20	0.14	↘				0.50		↘					0.33	↗						1.25	0.75	↘				0.25	↗		
川崎病	0.03		↘																					0.33		↘				
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*									*	*			
流行性角結膜炎	0.29	0.14	↘	0.33	0.33					*	*		*	*		*	*						1.00		↘	*	*			
細菌性髄膜炎															*	*														
無菌性髄膜炎															*	*														
マイコプラズマ肺炎	0.50	1.75	↗							3.00	3.00			3.00	↗	*	*		1.00	↗	1.00	3.00	↗		1.00	↗		3.00	↗	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)															*	*														
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)															*	*														

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。

「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

・二類感染症の結核が大館保健所管内から1人、報告されました。
・三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症が秋田市保健所管内から1人、由利本荘保健所管内から7人、大仙保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-28週		29週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	11364	61	1
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
三類	コレラ	2		
	細菌性赤痢	94		
	腸管出血性大腸菌感染症	1173	3	9
	腸チフス	18		
	バラチフス	11		
四類	E型肝炎	231		
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	538		
	エキノкокクス症	7		
	黄熱			
	オウム病	5		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	2		
	キャサナル森林病			
	Q熱	1		
	狂犬病			
	コクシジオイデス症	1		
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	41		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
ダニ媒介脳炎	1			
炭疽				

トピックス

<7月28日は世界肝炎デーです>

世界保健機関(WHO)は、2010年からウイルス性肝炎のまん延防止と、患者・感染者に対する差別や偏見の解消、感染予防の推進を目的に、7月28日を“World Hepatitis Day”(世界肝炎デー)と定め、啓発活動等の実施を提言しています。日本でも2012年からこの日を「日本肝炎デー」と定めて、予防や治療に関する正しい理解が進むよう、普及啓発及び情報提供を推進しています。

(参照) ・肝炎情報センター
・厚生労働省(肝炎総合対策の推進ページ)

■ウイルス性肝炎

肝炎を起こすウイルスには、B型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルスなどがあり、これらのウイルスに感染することで急性肝炎を発症します。中には、その後も体内からウイルスが排除されず、感染が持続し慢性化する場合があります。

■症状

急性肝炎では、全身倦怠感、感冒様症状、食欲不振、嘔吐等の症状が現れます。一般的に経過は良好ですが、肝臓は「沈黙の臓器」と言われるように、自覚症状に乏しいまま慢性肝炎に進み、肝硬変や肝がんへ移行する感染者もいます。検査によって早期に感染を発見し、適切な医療を受けることが大切です。

■検査

秋田県では、県内在住でこれまでに検査を受けたことがない方を対象に、保健所及び委託医療機関で無料の肝炎ウイルス検査を実施しています。事前の予約が必要な場合がありますので、詳しくは最寄りの保健所へお問い合わせください(表)。

表 肝炎ウイルス検査の問い合わせ先

問い合わせ先	電話番号
大館保健所	0186-52-3952
北秋田保健所	0186-62-1166
能代保健所	0185-52-4333
秋田中央保健所	018-855-5170
秋田市保健所	018-883-1180
由利本荘保健所	0184-22-4122
大仙保健所	0187-63-3403
横手保健所	0182-32-4006
湯沢保健所	0183-73-6155

～ご案内～

肝炎デーに関連して、市民公開講座が開催されます。

日時:平成30年7月28日(土)
14:00～16:00 開場13:30
場所:秋田市民交流プラザ アルヴェ
2F 多目的ホール

詳しくはこちらから
<http://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/34071>



感染性胃腸炎情報

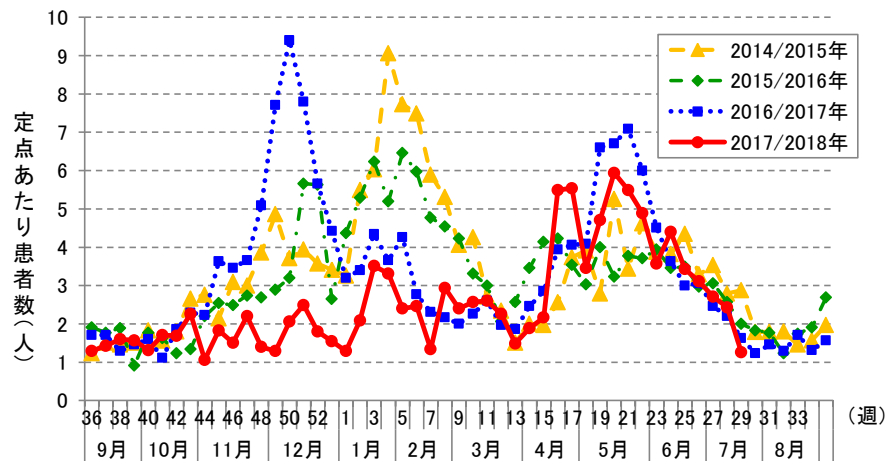


図: 秋田県における感染性胃腸炎の発生状況

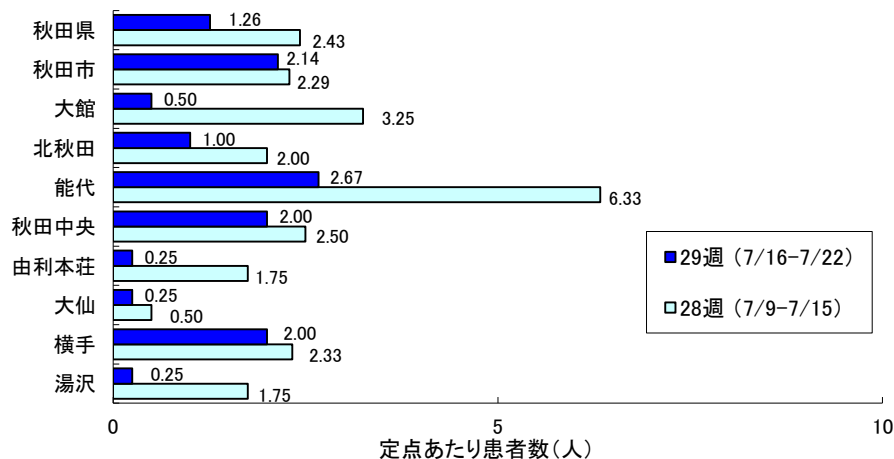


図: 秋田県各保健所における感染性胃腸炎の発生状況

社会福祉施設等における感染性胃腸炎の集団発生について

感染性胃腸炎の集団発生報告はありませんでした。

★感染性胃腸炎の集団発生状況

平成30年度 24施設 発症者 365名
<保育所・幼稚園 24>

【参考】

平成29年度 42施設 発症者 637名

※原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。

感染症の集団発生報告

RSウイルス感染症による
集団発生報告が1件ありました。

発生届出日 平成30年7月18日
受付保健所 秋田中央保健所
施設名称 もりやまこども園
有症者数 園児177名のうち23名
把握期間 7月7日から7月18日まで
検査状況 9名からRSウイルスを検出

ヘルパンギーナによる
集団発生報告が1件ありました。

発生届出日 平成30年7月24日
受付保健所 横手保健所
施設名称 明照保育園
有症者数 園児122名のうち13名
把握期間 7月23日から7月24日まで



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	4	7	4	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大湯村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		